

吉井英一：ピラノナフトキノ系抗生物質の合成研究(3). Griseusin の合成研究, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

3) 酢谷峰一, 竹内義雄, 吉井英一：ピラノナフトキノ系抗生物質の合成研究(4). 4, 8-Dihydroxy-3-methyl-5, 6-benzo-2-oxabicyclo[2. 2. 2]oct-5-ene の合成, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

4) 米谷 正, 竹内義雄, 吉井英一：ピラノナフトキノ系抗生物質の合成研究(5), 日本薬学会北陸支部第53回例会, 1981. 6, 富山.

5) 小泉 徹, 岩田正徳, 吉井英一：光学活性 Phenylphosphonic acid 誘導体の反応と立体化学, 日本薬学会北陸支部第53回例会, 1981. 6, 富山.

6) 小泉 徹, 柳田玲子, 小柳裕子, 桃井啓子, 吉井英一：2',3',5'-トリアジド置換ウリジンの合成, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

7) 小泉 徹, 平井 肇, 吉井英一：Vinyl sulfoxide と nitron の 1, 3-Dipolar 反応, 日本薬学会北陸支部第55回例会, 1981. 11, 金沢.

物 理 薬 剤 学

教 授 榎 本 三 郎
助 教 授 井 上 正 美
助 手 柏 木 寛
助 手 上 山 勉

◆ 原 著

1) 上山 勉, 榎本三郎, 井上正美：ニッケル触媒によるピラジン, ピリジンの液相メチル反応, 薬学雑誌 101(1) : 20-24, 1981.

2) Kamiyama T., Enomoto S. and Inoue M. : Catalysts for hydroalkylation of benzene, toluene and xylenes. Chem. Pharm. Bull. 29(1) : 15-24, 1981.

3) Kashiwagi H. and Enomoto S. : Formation of stable free radicals in saccharides by heating or by UV irradiation. Chem. Pharm. Bull. 29(4) : 913-917, 1981.

◆ その 他

1) 柏木 寛, 榎本三郎：固体酸触媒の原子配列と活性点の構造 (予稿), 触媒, 23 : 350-352, 1981.

◆ 学会報告

1) 石塚仍康, 井上正美, 榎本三郎：金属酸化物によるイミノジベンジルの気相脱水素反応, 日本薬

学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

2) 上山 勉, 榎本三郎, 井上正美：モリブデン触媒を用いるジアルキルジスルフィドの合成, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

3) 柏木 寛, 榎本三郎：ケイ酸塩を含む二成分系粉体の ESR スペクトルの機械的な力の添加, 捏和→乾燥による変化, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

4) 柏木 寛, 榎本三郎：固体酸触媒の原子配列と活性点の構造, 第48回触媒討論会, 1981. 10, 岡山.

5) 上山 勉, 榎本三郎, 井上正美：アニリンのハイドロアルキレーション, 日本化学会第44秋季年会, 1981. 10, 岡山.

教 授 永 原 茂
助 教 授 北 川 泰 司
助 手 森 佳 洋
助 手 篠 田 裕 之

◆ 原 著

1) Kanoda M., Shinoda H., Hase J., Kobashi K. and Nagahara S. : Quantum Biophysical Study on Hydroxamic Acids and Thier Urease Inhibitory Potency. II. Progress Report 14 : 101-110, 1981.

◆ 学会報告

1) 叶田昌己, 小橋恭一, 長谷純一, 篠田裕之, 永原 茂：ウレアーゼ阻害剤ヒドロキサム酸の量子化学的考察, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

2) 森 佳洋, 北川泰司：クラスタイオン M_n^+ ($n \geq 2$) からプロトン化イオン $M_{n-1}H^+$ を生成する反応についての熱化学的考察, 日本化学会第43春季年会, 1981. 4, 東京.

3) 森 佳洋, 北川泰司：超音速分子線を用いた分子クラスターおよび電荷移動錯体の生成と赤外多光子解離：分子構造総合討論会1981. 10, 京都.

4) 叶田昌己, 篠田裕之, 小橋恭一, 長谷純一, 永原 茂：ウレアーゼ阻害剤ヒドロキサム酸の量子化学的考察II, 第3回メディシナル・ケミストリー・シンポジウム, 1981. 11, 大阪.

助 教 授 竹 口 紀 晃
助 手 森 井 孫 俊
助 手 柏 倉 正

◆ 原 著

1) Takeguchi N., Nishimura Y., Morii M., Horikoshi I. and Inoue S.: K^+ selectivity and HCl secretion in *Xenopus* and their relation to cAMP and Ba^{++} . *Am. J. Physiol.* **240**: G331-G337, 1981.

2) Takeguchi N., Morii M., Kashiwagura T., Ishizuka Y. and Horikoshi I.: Amino acid permeability of liposomal membranes measured by light scattering method: a simulation with a method of cumulants. *Int. J. Pharmaceutics* **9**: 153-164, 1981.

3) Takeguchi N., Kashiwagura T. and Morii M.: A vesicle-coated particle method for the determination of electrophoretic mobility of gastric vesicles. *Cell Structure and Function* **6**: 191-200, 1981.

4) 森井孫俊, サミロ アブザイド, 竹口紀晃: ポリカーボネート膜により順次透過したリポソームの粒子径減少と準弾性光散乱法, 薬学雑誌 **101**: 1023-1029, 1981.

◆ 学会報告

1) サミロ アブザイド, 森井孫俊, 竹口紀晃: 準弾性光散乱法によるリポソーム粒子径の測定, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

2) 森井孫俊, 竹口紀晃: 準弾性光散乱法による静注用脂肪乳剤の粒子径測定, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

3) 西村嘉博, 竹口紀晃: カエル胃粘膜におけるメタアミドの胃酸分泌抑制作用と K^+ 濃度効果, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

4) 荒川理恵, 柏倉 正, 竹口紀晃: 胃ベシクルの H^+ 輸送における内外の K^+ イオンの役割, 日本薬学会第101年会, 1981. 4, 熊本.

5) 森井孫俊, サミロ アブザイド, 竹口紀晃: 準弾性光散乱法によるリポソームのサイジング評価, 第四回製剤の安定化とその評価法シンポジウム, 1981. 10, 千葉.

6) 竹口紀晃, 井上 豊, 上島玲子, 森井孫俊: $(H^+ + K^+) - ATPase$ 中のチャンネルの存在 I. S-S 架橋によるイオン透過性の変化, 第19回日本生物物理学会, 1981. 10, 福岡.

7) 森井孫俊, 井上 豊, 齊藤拓哉, 竹口紀晃: $(H^+ + K^+) - ATPase$ 中のチャンネルの存在 II. 胃

ベシクル成分を含む平面二分子膜の雑音解析, 第19回日本生物物理学会, 1981. 10, 福岡.

8) 竹口紀晃, 柏倉 正, 中谷雅美: $(H^+ + K^+) - ATPase$ のコンフォメーション変化と胃ベシクルの表面荷電密度, 第19回日本生物物理学会, 1981. 10, 福岡.

9) 柏倉 正, 竹口紀晃: 胃ベシクルにおけるプロトン輸送と陰イオン効果, 第19回日本生物物理学会, 1981. 10, 福岡.

10) 竹口紀晃, 柏倉 正, 森井孫俊, 中谷雅美, 石村典元: gastric $(H^+ + K^+) - ATPase$ のコンフォメーション変化とベシクル間 S-S 結合, 第4回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1981. 11, 東京.

11) 西村嘉博, 竹口紀晃, 森井孫俊, 堀越 勇, 井上 栄: *Xenopus* 胃粘膜の K^+ 選択性と胃酸分泌速度, 日本薬学会北陸支部第55回例会, 1981. 11, 金沢.

12) 荒川理恵, 柏倉 正, 竹口紀晃: 胃ベシクル系の H^+ 能動輸送と光増感酸化による化学修飾, 日本薬学会北陸支部第55回例会, 1981. 11, 金沢.

13) 竹口紀晃, 森井孫俊, 井上 豊, 上島玲子, 石村典元: $(H^+, K^+) - ATPase$ の S-S 化学修飾による塩透過性とベシクル間凝集, 第7回生体エネルギー討論会, 1981. 12, 岡山.

14) 柏倉 正, 荒川理恵, 竹口紀晃: $(H^+, K^+) - ATPase$ - ベシクル系の光増感酸化による化学修飾, 第7回生体エネルギー討論会, 1981. 12, 岡山.

薬学部附属薬用植物園

助 教 授 吉 崎 正 雄
教 務 員 近 藤 誠 三
文 部 技 官 藤 野 廣 春

◆ 原 著

Hase J., Kobashi K., Mitsui K., Namba T., Yoshizaki M. and Tomimori T.: The Structure-hemolysis Relationship of Oleanolic Acid Derivatives and Inhibition of the Saponin-induced Hemolysis with Sapogenins. *J. Pharma. Dyn.* **4**: 833-837, 1981.

◆ 学会報告

吉崎正雄, 藤野廣春, 近藤誠三: 辛夷の品質評価に関する研究 (第1報) キタコブシについて, 日本生薬学会第28回年会, 1981. 10, 東京.